

朋友金属株式会社

国内外の協力会社を結び 一貫生産

- 海外発注可
- 納期相談
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産対応



徹底した技術指導で高精度の鑄物部品を供給する

業務内容 機械加工で顧客をつかむ

鑄造部品の製造および販売を手がける。平成11年の設立当初は海外で調達した鑄物を顧客に納品するだけだったが、平成19年からは本社内にて切削機械等を設置し、機械加工を内製化した。現在は国内外10社以上の協力会社を確保し、材料調達から鑄造、機械加工までを一括管理、一貫生産することによって、価格競争力のある高精度な鑄造部品を供給している。農業機械や産業機械業界向けが中心で、現在は年商12億円のうち2〜3億円分が加工まで含めた受注内容となっている。

強み “爪”が力強い

機械加工で強力な武器となっっているのが工作物をつかむ独自開発の「爪（チャック）」だ。接地面を大きくし、工作物に均等に力をかけることで、薄肉で直径が大きな工作物でも100分の1mmの真円度で仕上げられる。荒加工と仕上げ加工が同時に行えるため、3割程度の工程短縮が可能になるという。精密減速機部品の加工から確立した技術だが、平成23年に再生可能エネルギー分野の設備部品の受注につながるなど、独自の取り組みを進めたことにより、新たな顧客獲得に結びついた。同分野では要求精度が従来よりもさらに高かったため、社内の一層の加工技術・ノウハウ向上にもつながったという。

生産体制 一貫生産で差別化

鑄物は「巣」の発生など内部の欠陥

によるトラブルが多い。これを未然に防ぐために始めた機械加工だったが、「中小企業で一貫して手がけているところは少なく強みになった」と津田岳彦社長。付加価値の高さが顧客に安心感を与え、大手からの受注が増えてきた。本社工場は高精度を要する機械加工に特化しており、標準品は中国の提携工場を活用。中国の日系企業に納める製品は上海の子会社で品質フォローする。平成20年には小ロット品への対応を強化するため、中国企業と新たに資本業務提携も結んだ。協力会社には本社から頻りに技術者を派遣し、技術のレベルアップに取り組んでいる。

今後の展望 国内をベースに高度な技術を浸透

本社の現場は全員が20〜30歳。「今後は仕事を増やしながら人材育成に取り組みたい」と津田社長は言う。昨今は農機関連の受注が増加傾向にある。コストダウンのため設計が複雑になり、鑄物づくりは難しくなる一方だ。しかし、国内のライバルが仕事を減らし廃業に至るなど企業数が減っている。「確実に力を付け、若い人材を育てていけば、仕事は継続的にやれる」と津田社長は自信を見せる。まず国内で顧客の要望に答える体制を作り、海外に技術指導で広げる。さらに知識を深め、新分野に提案できる力を付けていく考えだ。



本社工場（右）と高精度機械加工を手がける本社工場

COMPANY PROFILE

朋友金属株式会社

大阪25

ISO 9001

当社の歴史

創業は平成11年。商社からスタートし、機械加工までを手がけるようになりました。素材調達から加工仕上げまでの一貫した生産体制を構築しており、加工、材料のそれぞれの側面からコストメリットを提案できる強みがあります。また機械加工時に加工物をつかむ独自開発の「爪」は仕上げ工程の短縮によるコストダウンと高い加工精度を両立しました。海外協力会社と連携しながらグローバルに展開する一方で、国内のものづくりに軸足を置くことを大切にしています。

「朋友に頼めばすべてやってくれる」と言われる会社を目指します。

代表取締役社長 津田 岳彦さん



■主な事業内容
鑄物部品の製造、加工、販売

■主な取引先（納入先）
機械部品メーカー

住所 / 〒594-1141
和泉市春木町
68
TEL / 0725-53-3991
FAX / 0725-53-3992
創業 / 昭和11年6月
設立 / 昭和11年6月
資本金 / 5,000万円
従業員 / 20名

<http://www.hoyu-metal.co.jp>